

「ボッチャ」とは

「ボッチャ」は、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者や同程度の四肢重度障がい者のために考案されたスポーツです。

ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤と青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかにジャックボールに近づけられるかを競うものです。

また、障害度によりボールを投げることでできなくても、ランプ（勾配具）を使い、自分の意思を介助者に伝えることができれば参加できます。見た目には激しい運動ではないですが、知的な戦略がかなり必要なスポーツであり、技術力、集中力等が求められます。



競技は男女の区別はなく、BC1〜BC4のクラスに分かれて行われ、個人戦と団体戦（2対2のペア戦と3対3のチーム戦）があります。



- ・ BC1の種目
個人戦・チーム戦
 - ・ BC2の種目
個人戦・チーム戦
 - ・ BC3の種目
個人戦・ペア戦
 - ・ BC4の種目
個人戦・ペア戦
- また、ボッチャの歴史は古代ギリシャの球投げで、語源はラテン語の「botitia」に由来するものです。国際大会として

では1984年からパラリンピックの正式種目となっています。コートは6mのエンドラインと12・5mのサイドラインのほか、ジャックボールラインやスローイングラインがあります。

用具はボッチャ用のボールのほか、「コイン、ランプ（勾配具）、指示板、計測器具、得点板、デッドボール入れなどがあります。また、「ボッチャ」は、去る1月に開催された北京オリンピックで日本の女子チームが活躍し、初の銀メダルを獲得した「カールリング」にも類似しており、相手のボールを弾いたりして、自分がいかに優位に立てるように



位置取りをしていきますが、的も弾いて移動させることができます。

るので、一味違う戦略、魅力がある競技といえ、誰もがスポーツを楽しむことができるという障がい者スポーツの理念を体現しているところにもあるといえます。



編集後記

新型コロナウイルスの感染は、新年を迎えるとともに「オミクロン株」が猛威を振るい、昭島市でも時折100人を超える感染状況が報じられました。手洗い、うがい、マスクの着用、不必要な外出を避けるなど、「まん延防止等重点措置」が一日も早く解除されるよう、お互いに頑張りましょう。

編集委員 川口・小峰・小川・

牧・廣光・赤木